

香川高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	校外実習
科目基礎情報						
科目番号	201345			科目区分	専門 / 選択	
授業形態	実習			単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	機械電子工学科（2019年度以降入学者）			対象学年	5	
開設期	通年			週時間数	1	
教科書/教材	なし					
担当教員	未 定					
到達目標						
実習内容を技術系の文章として、実習報告書にまとめることができる。 実習報告書に基づき、パワーポイント等のスライドを用いた発表を行うことができる。また、発表に対する質問に答えることができる。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
		実習内容を技術系の文章の書き方を用いて、実習報告書にまとめることができる。	技術系の文章の書き方を理解し、実習内容を報告書にまとめることができる。		実習内容を技術系の文章として、実習報告書にまとめることができない。	
		実習報告書に基づき、パワーポイント等のスライドを用いた発表を行うことができる。また、発表に対する質問に答えることができる。	実習報告書に基づき、パワーポイント等のスライドを用いた発表を行うことができる。		実習報告書に基づき、パワーポイント等のスライドを用いた発表を行うことができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	1. これまでに習得した各専門知識が、実際の企業での製品開発や製造および生産管理等にどのように活かされるかを学ぶ。 2. 企業より与えられた課題に取り組む。 3. 実習内容を技術系の文章として、実習報告書にまとめる。 4. 実習報告書に基づいた、プレゼンテーションを体験する。					
授業の進め方・方法	1. 学年の長期休暇を利用して、企業に出向き（30時間以上）の実習を経験する。 2. 実習内容は受け入れ先の企業の実習教育担当者の計画、指導に従う。 3. 帰校後、実習報告書を提出する。 4. 実習報告会にて、スライド等を用いて発表を行う。					
注意点						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	企業にて実習を行う。		実習報告書作成のための情報を記録する。	
		2週	実習報告書と実習証明書を提出する。		技術系の文章の書き方を理解し、実習内容を報告書にまとめることができる。	
		3週	実習に関する発表を行う。		実習報告書に基づき、パワーポイント等のスライドを用いた発表を行うことができる。また、発表に対する質問に答えることができる。	
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	2ndQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				
		14週				
		15週				
		16週				
後期	3rdQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	4thQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				
		14週				

		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	実習報告書	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	50	0	0	0	0	100
評価項目1～2	50	50	0	0	0	0	100